

きずな 2017

上川管内公立小中学校事務職員協議会
発行者 広報担当 柳原拓也(富良野・東小)
第3号 2017, 7, 11



8月1日(火)～2日(水)に上川教育研修センターでおこなわれる「学校事務実務」講座。夏休みの研修にいかがですか?まだ間に合いますので、「研修講座受講申込書」に必要事項を記入し、研修センターへFAX!

第127回管内研(富良野大会)が盛会に終わりました

研修テーマ: 子どもたちの生活の場を意識した「教育環境整備」
～教育環境整備の「ものの整備・かねの整備」に重点をおきながら～(初年度)

6月29日(木)・30日(金)の2日間、「富良野文化会館」を会場に、第127回上川管内公立小中学校事務研究大会(富良野大会)が開催されました。1日目は小雨模様に見舞われましたが、一転して晴天&夏日に変わった2日目。夏日に負けじと分散会も熱い議論がおこなわれました。



挨拶をする佐々木実行委員長



講演頂いた安丸千加さん

ある、夢もある。私たちだからできる、農業がある。」と締めくくった言葉に、学校事務職員にも通じるものがあると感じました。

1日目の講演では、「We are hungry!」と題し、農業女子ネットワーク「はらべ娘」代表の安丸千加さん(上富良野在住)にお話していただきました。「愛も

その後の個人レポート「新採用時代をふりかえって」では、佐藤さん(幌加内小) 鈴木さん(仁宇布小中) 宮崎さん(西中小) 菊地さん(東川中)に、それぞれの歩んだ新採用時代のお話をしていただきました。4名のみなさんのご協力に感謝いたします。



左から佐藤さん、鈴木さん、宮崎さん、菊地さん

2日目は、研修部提起の後分散会へと進みました。前夜の懇親会で養った英気もあり、活発な交流ができました。



左から菅原さん、原田さん、小林さん、葛西さん、坂本さん

今回の研究大会の開催にあたり、富良野ブロック現地実行委員みなさんをはじめ、ご協力いただいたみなさんに、あらためて心より感謝申し上げます。

★★ 今年の管内研の分散会内容 ★★

第1分散会

第1分散会は、13名の参加者で行いました。市町村学校間連携推進計画の交流では、学校間連携会議を行うことによって、課題が解決された事例やPFシートを市町村単位で取り組んでいるなどの報告があり、学校間連携会議が定着してきていることが実感できました。また、学校間連携会議が、シーンとする時間が多く、どうしたら良いか？などの会議の持ち方やどのように学校間連携会議を開設したら良いかなどの悩みも出され、活発な意見が飛び交いました。管内研終了後に他支部からの参加者から、学校間連携会議の開設に向けて動き出していることを聞きました。上川から広がりを見せることになるかもかもしれません。



研修部提起については、PFシートへの期待、実践例を提起してほしかった、また、昨年度と同じ検討課題では、「もの」、「かね」的整備のとりにくみはやりづらいのではなどのご意見をいただきました。

分散会全体では、市町村学校間連携推進計画の交流で時間の約9割を占めてしまいましたが、常に活発な意見交流がなされるなど、大変有意義な分散会になったと思います。参加した会員の皆様、ご協力ありがとうございました。



第2分散会

まず午前中に「個人レポート」についての交流を行いました。今回の「新採用時代を振り返って」は、前回の富良野大会でも全く同じテーマで、管内研で個人レポート発表が始まった最初のテーマでもありました。発表者の菊地さん、宮崎さんから補足の説明もあり、交流がすすみました。交流の中で、今と昔では多くの違いがあることや、昔よりも今の方が即戦力として求められているのではないかと、マイナンバーなど提出する書類も増えている、昔は「学校事務職員ってどんな仕事だろうか？」と全く想像できずに赴任していたが、今はある程度学校事務職員とこういう仕事をする職業だと調べてから赴任している方が多いという違いもあるのという交流が行われました。



午後からは、「市町村学校間連携推進計画」の交流を中心にすすみました。学校間連携についての交流はもちろんですが、事務加配を中心とした、各市町村の現状を交流することができました。文面だけではわからない状況について知ることができ、ますます私たちを取り巻く環境が厳しくなっていることを共有することができました。また、下川町の現状も交流することができ、とても有意義な交流となりました。年に2度、管内研で各市町村の状況をブロックの枠を越えて交流することが必要だということを実感しました。

最後は研修部提起について、短時間ではありましたが交流を行い、検討課題1～3について様々なご意見をいただきました。今後の研修推進に活かしていきたいと思えます。

顔を合わせて「話」し合うことがやっぱり大事なんだということを実感できた分散会でした。



第3分散会

今年度の検討課題については、午前中に交流しました。48Pの言葉の整理の図は、わかりやすいと好評でした。

ブロック研修計画・市町村学校間連携推進計画については、午後に2時間程度の交流でした。出勤簿押印の廃止についてや、各市町村教委との連携について、質問や意見、それに対する助言なども活発に出てきたので、よい交流ができたと思います。また、旭川市から、神楽岡小学校の神田さんも参加してくださったので、旭川市の現状についても聞くことができました。新採用者もたくさん加入したので、校内配当予算の執行などについても、横のつながりを意識して、足並みを揃えてとりこんでいるとのことでした。



個人レポートについては、休憩後に30分くらいの交流でしたが、ベテラン事務職員に当時の学校事務を振り返って、お話いただくこともあったので、とても勉強になりました。例えば、給与が現金支給で、事務職員が振り分けていたこともあり、その苦勞などについても聞くことができました。佐藤さんのレポートでは、事務職員が「なんでも屋さん」になることについて、会員間でさまざまな意見がありました。

意見をする人に偏りがなく全員が参加することができ、また、時間内ですべての議題に触れることができた分散会でした。



第4分散会

第4分散会は、勤務年数4年未満の19名で交流しました。

前半は、全体交流で、「日常の仕事について」「備品について」「事務だより」の3つの内容を交流しました。それぞれの普段の仕事の様子や、他の市町村の状況を話し合うことで、日頃の不安の解消や参考となる実践の交流を行うことができました。また、アドバイザーの菅原さんから、今回交流した内容をこれからの仕事に活かすための貴重なアドバイスをいただきました。



後半は、小学校・中学校・併置校のグループに分かれ、「予算配当について」をテーマに少人数で交流・討議を行いました。各々の学校の校内配当予算書を持参し、他校と比較することで、様々な意見交流が行われました。同世代で話し合える貴重な機会となり、各グループ盛り上がっていました。

(今後も引き続いて、経験年数の少ない事務職員が交流できる研修を実施していきたいと考えています。)



第127回管内研の一コマ

